

令和8年2月6日

**【福島大学地域未来デザインセンター】地域探究プログラム  
“湯本ディスカバリー2026～湯本に恋する2日間～”  
開催のお知らせ**

福島大学地域未来デザインセンターでは、地域課題解決にむけた研究・実証活動として、いわき市常磐湯本地域の魅力を再発見する地域探究プログラム“湯本ディスカバリー2026～湯本に恋する2日間～”を開催いたします。本プログラムは、いわき市観光地魅力アップ事業の補助金助成を受け、地域研究の実証活動として実施いたします。報道機関のみなさまにおかれましては、当日の取材方よろしくお願いいたします。

本センターでは、地域課題の解決にむけた研究・実証活動を進めており、令和7年度いわき市観光地魅力アップ事業費補助金の助成を受けました。いわき市観光地魅力アップ事業費補助金とは、いわき市の観光の中心的な役割を担い、地域経済の重要な基盤となっているいわき湯本温泉郷の観光振興に資するソフト事業に対し補助金を交付するものです。

この助成を受け、2026年2月14日・15日に、湯本地域の魅力を発見する地域探究プログラム“湯本ディスカバリー2026～湯本に恋する2日間～”を開催することになりました。これまで、本学の学生だけでなく、いわき市にある福島工業高等専門学校学生の協力のもと、いわき市在住者に湯本の魅力を伝えるためにどうしたらよいか検討を重ね、今回のプログラムの決定に至りました。当日は、湯本地域の歴史・炭鉱、フラダンス、湯本温泉の魅力を再発見する、体験・ワークショップを実施いたします。早春の湯本で、地域の新しい魅力を発見する機会になりましたら幸いです。

**【概要】**

日 時：2026年2月14日(土) 13:00～17:00

2026年2月15日(日) 9:45～16:00

場 所：2月14日(土) いわき市石炭・化石館ほるる集合

(福島県いわき市常磐湯本町向田3-1)

2月15日(日) いわき湯本温泉旅館こいと 2F 大広間

(福島県いわき市常磐湯本町笠井1番地)

参加対象者：いわき市内在住・出身の高校生、高専生、大学生、  
探究活動に関わる学校関係者、湯本地域に関心のある成人の方

---

実施内容：添付のチラシをご参照ください。

主 催：福島大学地域未来デザインセンター

協 力：福島工業高等専門学校、

（一社）いわき観光まちづくりビューロー、常磐湯本温泉株式会社、  
いわきヘリテージツーリズム協議会、いわき湯本温泉旅館協同組合、  
じょうばん街工房 21、温泉神社、（一社）日本温泉保養士協会、  
ALOHILANI、PHOTO ASK、常磐交通観光

（お問い合わせ先）

福島大学地域未来デザインセンター

ソーシャルデザイン開発部門 担当 江尻・阿部

電 話：024-504-2865

メール：[s-design@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:s-design@adb.fukushima-u.ac.jp)

(一社)いわき観光まちづくりビューロー、常磐湯本温泉株式会社、  
いわきヘリテージツーリズム協議会、いわき湯本温泉旅館協同組合、  
じょうばん街工房21、温泉神社、(一社)日本温泉保養士協会、  
ALOHI LANI、PHOTO ASK、常磐交通観光

# 湯本ディスカバリー2026プログラム

## 2026年2月14日(土)～2月15日(日)

**Day1**  
2月14日(土)  
13:00～17:00  
(いわき市石炭・化石館  
ほるる)

### ＝セッション1：湯本の歴史と炭鉱を知る まちなか巡り＝

- 13:00 オープニング（プログラム開講式）  
いわき市石炭・化石館ほるる施設見学 →バス移動
- 14:00 常磐炭礦内郷礦(中央選炭工場跡) 見学 →バス移動
- 14:50 福島高専生ガイド＋地域ガイドと歩く、湯本まちなか巡り  
(湯本温泉の源泉に触れる体験、温泉神社参拝、  
湯本温泉を活用した名物グルメの試食体験、  
＋湯本駅前の街歩き)
- 17:00 1日目終了（いわき市石炭・化石館ほるるにて解散）

**Day2**  
2月15日(日)  
9:45～16:00  
(いわき湯本温泉旅館  
こいと)

- 9:45 2日目開始（ガイダンス）

### ＝セッション2：「フラ」の歴史と魅力に触れる 学びの体験＝

- 10:00 フラの歴史と魅力を探るトークセッション  
＋フラダンスの体験（誰もが知る楽曲に合わせた体験）
- 12:00 お昼休憩（地元食材のお弁当の試食体験）

### ＝セッション3：「湯本温泉の泉質の魅力を探る」温泉講座＝

- 13:00 湯本温泉の泉質と温泉の入浴方法を学ぶ温泉探究講座  
～休憩時間～

### ＝振り返りセッション＝

- 14:30 湯本ディスカバリーを振り返る“ととのえ体験”  
(福島高専生、福大生による俳句のワークショップ)
- 15:30 クロージング（プログラム閉講式）  
※2日間のプログラムを終了した参加者には、湯本温泉施設体験チケットを  
お渡しします。

福島大学地域未来デザインセンターでは、福島工業高等専門学校ビジネスコミュニケーション学科の  
学生協力のもと、湯本の街の魅力を再発見する地域探究プログラム“湯本ディスカバリー2026”を企画しました。  
みなさまの参加をお待ちしています（プログラム詳細は、参加者確定後に担当より個別にご連絡いたします。）

※本プログラムはいわき市観光地魅力アップ事業助成を受け、地域探究の実証活動として実施いたします。  
2日間のプログラムでは、両日とも、いわき駅前・福島高専前発着の送迎バスを用意しております。  
プログラムは、天候等により、スケジュールが変更になる可能性があります。



福島大学  
地域未来デザインセンター  
Fukushima University  
Community Future Design Center

<問い合わせ先>

福島大学地域未来デザインセンター ソーシャルデザイン開発部門  
(福島県福島市金谷川1)

Web : <https://cfdc.net.fukushima-u.ac.jp>

問い合わせフォーム : <https://cfdc.net.fukushima-u.ac.jp/contact/>

